



イオンの森植樹祭



割付町有林（イオンの森）での植樹祭は、10月27日に開催しました。農業寺子屋の子どもたちと保護者ほか多くの地域住民と、イオンチアーズクラブなどのボランティアら総勢200人

が参加しました。この植樹祭は、中学校校舎建設の材料としてスギが切り出された同町有林を、ユネスコエコパークとして豊かな里山の森に整備していくと実施されているもので、今回で5回目です。参加者は8班に分かれ、宮崎中央森林組合の指導のもと、ヤブツバキやサザンカ、クチナシなど16種類の樹木を1千本植樹しました。

会場では、綾ユネスコエコパークまちづくり協議会のメンバーが手づくりしたイノシシ汁などが振る舞われ、参加者はさわやかな眺望を前に舌鼓を打っていました。

また、イオンチアーズクラブのメンバーは、植樹後に綾ユネスコエコパークセンターを訪問。森づくりの意味に関する講話を聞いたり、綾の自然環境や多様な生き物について学んだりしました。

綾町は、綾町イオンの森づくり整備・保全協定に基づき、（公財）イオン環境財団の協力で今年と来年の2年間で2千本を植樹する計画です。植樹祭は来年も実施予定ですので、ふるさとの豊かな森づくりに、皆さんもぜひご参加ください。

■問い合わせ先／

綾ユネスコエコパークセンター
☎ 77-3482

12月15日（土）は
臨時休館します

column

ニホンアマガエル

なじみ深いカエルの一種で、田んぼの周辺などの水辺でよく見かけられるほか、自動販売機などの灯りにもエサとなる小さな虫を求めて集まってきます。

体のサイズは2〜4センチと小さく、鼻先から目を通り脇腹へ続く黒色の模様があるのが特徴です。体の色は緑色と思われがちですが、変色能力が高く、周辺の色に合わせて茶色や灰色、まだら模様などに自在に変化することができます。指先に発達した吸盤を持っているため木登りも得意で、U字溝や水路に落ちてもよじ登ることができるたくましさも持っています。

